

生越太鼓 議会だより 第123号

群馬県昭和村議会

令和8年7月15日 6月定例会



Contents

- 2～3 6月定例会
- 4～5 各常任委員会
- 6～7 全協・トピックス
- 8～14 村の姿勢を問う
- 15 あの問題は今

生越太鼓を体験

6月定例会

今定例会は、6月4日から12日までの9日間の会期で開催され、令和8年度補正予算を含む計14件(承認4件、議案7件、報告2件、発議1件)の議案をいずれも原案のとおり可決。

また、7人の議員が一般質問をし、村の姿勢を問いました。

条例改正

昭和村議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例について

教育委員会が所管する「昭和村統合小中学校推進協議会」で協議が進められている、新たな村立学校の「基本構想」について、「議会の議決すべき事件」に位置付ける。

補正予算

令和8年度昭和村一般会計補正予算(第1号)

4, 425万7千円増額

総額 48億2, 525万7千円

診療報酬改定に伴うシステム改修費、物価高対応子育て応援手当、汎用型飼料収穫機購入補助金、「集メール」に代わるメール送信システム、永井太々神楽殿補修、給食センターの蒸気式回転釜・真空冷却機入れ替え等。

令和8年度昭和村簡易水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収支(料金・維持管理費など)収入・支出 151万1千円増額

総額 1億7, 526万7千円

人件費及び委託料の追加による増額。

令和8年度昭和村下水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収支(料金・維持管理費など)収入・支出 1万8千円増額

総額 2億6, 090万9千円

人件費の追加による増額。

資本的収支(施設改修費など)収入・支出 1, 260万7千円増額

収入合計 1億4, 291万7千円

支出合計 2億831万4千円

昭和インター線バイパス整備事業に伴う下水道管の布設替えによる工事費及び委託料の増額。

承認(専決処分)

昭和村税条例の一部を改正する条例について

令和8年3月31日をもって廃止された軽自動車税の環境性能割等の改正や文言の整理。

昭和村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

「子ども・子育て支援金制度」の開始により、令和8年度から「子ども・子育て支援納付金」が、国民健康保険税の課税額に合算される。税率は所得割額の0.3%、課税限度額は109万円から113万円に引き上げ、基準額の5割軽減では30万5千円から31万円に、2割軽減では56万円から57万円に引き上げる。

令和7年度昭和村一般会計補正予算(第7号)

2, 599万6千円増額

総額 61億8, 033万6千円

環境性能割交付金、地方

交付税交付金、地方交付税等の増額。

歳出は緑の大地ふるさと昭和特産品返礼事業、指定寄付金やふるさと納税寄付金、基金の利子、民間保育所運営委託料等。

昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

3, 131万9千円減額

総額 11億8, 214万8千円

普通交付金及び県繰入金の確定、療養給付費の実績、保険給付費等交付金の実績等。

その他

君河原橋橋梁耐震補強工事契約の締結について

昭和村側1本目の橋脚のコンクリート巻き立て工事及び地震時の横揺れに耐えるための水平力分担構造部材の設置及び落橋防止部材設置等。

財産の処分について

昭和の森山荘の用地および建物を(株)エムズフーズに

売却する。
売却する土地
1万1,335.65㎡
建物総延べ面積
1,691.93㎡
売却価格
510万円

ホイルローダー除雪仕様車
購入契約の締結について
村内建設業界のかねてより要望であった除雪仕様のホイルローダーを購入。除雪作業の維持と村内業者の負担軽減を図る。

報告

令和7年度昭和村一般会計
繰越明許費繰越計算書
昭和村商品券配布事業、簡易水道事業の物価高騰対応重点支援地方支援創生臨時交付金事業、消防のポンプ車購入、道の駅管理運営事業、君河原橋耐震補強事業等。

昭和村土地開発公社の財政
状況報告について
昭和村土地開発公社の令和7年度の事業報告書、損

益計算書、貸借対照表、財産目録及び令和8年度の事業計画書、予定損益計算書及び予定貸借対照表。

発議

県道昭和インター線の早期
開通及び道路照明設備の整備を
求める意見書
県道昭和インター線バイパス整備事業は、昭和I・Cへのアクセス向上を図るとともに、利根沼田地域の交通ネットワークの強化、物流の円滑化及び地域経済の活性化に大きく寄与する重要な事業と考えることから群馬県知事に意見書を提出する。

要望事項

1. 早期全線開通に向け、事業を重点的に推進すること。
2. 本事業に併せ、交通安全の向上及び防犯環境の充実を図るため、道路照明設備の整備を推進すること。

提出された議案等と賛否一覧		堤宏康	佐藤好美	林栄一	倉沢つかさ	林勝美	阿部孝司	片柳悦夫	藤井貞充	林幸司	加藤生	沢浦典子	永井一行
※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。													
第2回定例会（令和8年6月4日～12日）													
承認4号	専決処分事項の承認を求めることについて 昭和村税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認5号	専決処分事項の承認を求めることについて 昭和村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—
承認6号	専決処分事項の承認を求めることについて 令和7年度昭和村一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認7号	専決処分事項の承認を求めることについて 令和7年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案23号	昭和村議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案24号	君河原橋橋梁耐震補強工事契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案25号	財産の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案26号	令和8年度昭和村一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案27号	令和8年度昭和村簡易水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案28号	令和8年度昭和村下水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告1号	令和7年度昭和村一般会計繰越明許費繰越計算書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告2号	昭和村土地開発公社の財政状況報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案29号	ホイルローダー除雪仕様車購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議1号	県道昭和インター線早期開通及び道路照明設備の整備を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

みなさんからの請願・陳情

自 令和8年2月19日 至 令和8年5月20日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
49	R8.2.9	昭和村総合運動公園 多目的グラウンドの人工芝化に関する請願書	昭和村サッカー協会会長 竹内敏昭 昭和村スポーツ推進委員 栗原孝明 昭和村スポーツ協会サッカー部部長 和南城寿 昭和村スポーツ少年団FC昭和代表 藤井吉治	佐藤好美	文教産建	趣旨採択
54	R8.5.11	椽久保地区の村道「中田松原線」と「側道9号線」 側溝へ溝蓋設置を求める請願書	椽久保北部区長 兵藤勉 椽久保南部区長 織田澤智弘 三ツ谷区長 兵藤喜孝	林 栄一	文教産建	採択

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

所管事務調査、村内3福祉関連施設を視察

6月9日に総務民生常任委員会を開催し、所管事務について調査・協議しました。

所管事務調査

問

学校建設の事業費について増加が予想される。他の事業もある中で本村の財政は耐えられるのか。将来世代に過大な負担を残さないため、教育委員会と総務課で予算のすり合わせを徹底する必要があるのでは。

答

総務課

現在、約28億円の公債費残高は、学校建設により倍以上に膨らむ見込み。今後、約10億円のごみ処理施設の建設負担金などの大規模事業が複数控えている。村の財政力に見合った規模で事業を進めなければ、昭和村の存続自体が困難になる可能性がある。

問

庁用バスの運転手を外部委託する場合の

責任の所在は。

答

総務課

事故等の責任は委託契約しているので、会社になると思う。

問

村づくり協力委員の在り方について状況の説明を。

答

企画課

要綱を改正し、再選を妨げないと会議で決めた。また、村づくりに興味がある方が多く参加できるよう行政区割の見直しも検討している。

問

コミュニティー助成事業の採択基準は。

答

企画課

基本的には申し込み順で対応。エアコン等の設備・備品の整備事業は順番待ちであるが、住民センター等の補修は、村単独の補助事業で随時対応している。

視察研修

社会福祉法人なごみの杜「菜の花館」、社会福祉法人北毛清流会「たけのこ学園」「くりのみ学園」を視察

「菜の花館」は特別養護老人ホーム。「その人らしくいきいきと」を基本理念とし、安心、安全な日常生活を特養・短期入所・通所介護の多職種と連携し垣根を越えた支援を続けている。本村の社会福祉協議会とも毎月2回程度、実務的な打ち合わせ等を実施し連携を強めている。また、隣接している第一保育園との交流、小中学校との職場・福祉体験、定期的なこども食堂の実施等、「地域に根差した施設でありたい」という法人のおもいを具体化していた。

「たけのこ学園」は、障害者総合支援法に基づいて自立や社会参加を支援する入居型の施設。「日中、夜間における食事・入浴・排泄などの介助。ご本人の意向と能力に応じた園芸・木工・軽作業などや、絵画・

手工芸・ダンスなどの余暇活動への参加を支援している。」との説明があった。

「くりのみ学園」は、就労継続支援事業に基づいて、個々の特性に応じた作業活動を提供している施設。「野菜や椎茸、花苗等の栽培や販売、受託作業などの他、日常生活の支援を行い、働く喜びや生きがいを感じながら生活していただくことを目指している。」との説明があった。

また、「施設から地域へ」という国の方針がある中、受け皿となるグループホームや日中活動の場が地域的に不足しており、「地域移行・社会参加支援の遅れ」を現状抱える課題として挙げた。

2つの福祉法人とも、「地元地域との連携」を活動の柱としており、行政と連携し、地域の期待や地域の課題解決を担っている。本村において、重要な福祉施設である。

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水などに関する事項を所管

請願2件を審査、趣旨採択1件、採択1件

沼田ウェイストパーク 一般廃棄物最終処分場を現地調査

6月8日に文教産建常任委員会を開催し、請願2件について、先進地視察及び現地調査を行い、状況等を確認し審査しました。

審 査

「昭和村総合運動公園、多目的グラウンドの人工芝化に関する請願書」を趣旨採択

前回からの継続審査であり、今定例会までの間に、みなかみ町への先進地視察を実施するとともに、委員各自が調査・研究を重ねてきた。

人工芝化については、利便性の向上や維持管理の効率化が期待できる一方で、多額の事業費を要することや、他競技や消防団の訓練など、一部の利用に支障が生じることも心配される。

これらを踏まえ、慎重に審議した結果、賛成多数により趣旨採択とすべきものとした。

「椽久保地区の村道「中田松原線」と「側道9号線」側溝へ溝蓋設置を求める請願

書」を採択

現地調査を行い、状況等を確認し、請願者である椽久保区長及び、紹介議員から説明を受けた。

両路線とも急勾配で一部幅員が狭く、カーブも多いため、蓋のない側溝が通行車両にとって危険な状態となっていること、さらに落ち葉や土砂が多量に流入し、毎年実施している道路愛護作業にも大きな負担になっていることから、区民の総意として溝蓋の整備を要望するもの。

これらを踏まえ、慎重に審議した結果、全会一致で採択すべきものとした。

現地調査

（株）ウィズ・ウェイスト・ジャパン

「沼田ウェイストパーク一般廃棄物最終処分場」沼田市佐山町を現地調査

沼田市佐山町に建設中の施設は、一般廃棄物専用最終処分場で、令和8年10月供用開始を予定している。埋立面積は、72,39

7㎡、埋立容量は、1,485,000㎡。埋立品目は、一般廃棄物3品目、①焼却灰、②処理済ばいじん、③不燃物残渣を限定としている。

対象は、市町村の焼却施設・リサイクル施設から発生する残渣物とし、産業廃棄物を扱う施設に比べて、管理がし易く、周辺住民にも安心していただけるよう、一般廃棄物のみを扱う。受入自治体、搬出自治体、事業者と三者間公防協定を締結、さらに受入自治体と共同管理体制をとるなど役割と責任を明確化している。沼田市とは、令和7年度に共助基本協定を締結。地震等災害発生時は、地域の復旧並びに活性化に資する支援活動をする予定。

現在建設中の施設を見学、現地で説明を受けた。今後本村での一般廃棄物に関する問題や課題解決に非常に参考となる有意義な現地調査となった。

所管事務調査

問 今年の熊の出没状況と新たな取り組みはあるか。

答 産業課

本年度、熊3頭、イノシシ3頭、鹿42頭捕獲。今後、スマホと連動した罠の確認システムの導入を考えている。

提言

昭和インター線の早期開通と県道下久屋渋川線の狭隘箇所^{きょうがい}の改善について

昭和インター線バイパス整備事業の早期完成、県道下久屋渋川線の改善について、県への要望活動が必要ではないかと協議した。

常任委員会の総意としてインター線の早期開通及び街灯設備の設置の要望と、萬延橋から下久屋渋川線の狭隘改良の要望について全員協議会で諮ることと一致した。

全員協議会

4月・5月・6月に開催した全員協議会での協議内容は以下のとおりです。

4月30日

第12回及び第13回昭和村統合小中学校推進協議会の報告

建設候補地別の建設費、スクールバス運行費用、候補地評価シートについて説明を受ける。

昭和の森山荘について

譲渡価格の見直しについて報告を受け協議する。

道の駅あぐりーむ昭和のテナントについて

8社の応募から、「株式会社かや本舗」、「麺工房農麵」、「ファーマーズカフェあさぎり」の3社に決定。テナント使用料は売上の12%と報告を受ける。

令和7年度ふるさと納税の寄付実績について

寄付件数 1万642件
(前年度1万2,058件)
寄付金額4億6,348万円(前年度5億4,765万円)

主力品の製造終了が主な減少要因で、今後は制度改革により、返礼品の要件が一層厳しくなると報告を受ける。

昭和村消防団ポンプ車売却について

旧消防ポンプ車2台を官公庁オークションにかけた結果報告を受ける。

落札金額

【第5分団小型ポンプ車】
118万1,599円。
【第10分団小型ポンプ車】
115万9,999円。

5月27日

第6次総合計画について

第6次総合計画の実施計画について、新規事業を中心に説明を受け協議する。

昭和村統合小中学校に係る区長会議及び地域説明会の報告について

区長会議、小中学校4校での地域説明会の結果について報告を受ける。

東部浄水場浄水処理方式について

既存方式を含む4方式について説明があり、可搬式ユニット型急速ろ過設備が費用を抑えられる旨、報告を受け協議する。

議員定数について

定数12名について、議員全員から意見を聞き、現状維持が7名、削減が5名とそれぞれの意見を出し合い協議する。

昭和インター線の進捗状況について

県道昭和インター線の工事の進捗状況及び君河原橋の県道昇格、久呂保橋の村道移管等の説明を受け協議する。



県道昭和インター線バイパス工事

6月10日

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について

令和8年度6期分の上下水道料金の免除に使用する旨の説明を受け協議する。

第14回及び第15回昭和村統合小中学校推進協議会の報告

説明会の結果を踏まえ、候補地評価シートを使用し、協議会として候補地を1カ所を選定し、今後予定している地域説明会開催について説明を受ける。

昭和村新型コロナウイルス感染症等対策行動計画について

新型コロナウイルス感染症での経験や教訓を踏まえ、村民の生命と健康を保護し、生活や地域経済への影響を最小限にとどめることを目的とした計画の説明を受け協議する。

赤城北麓土地改良事業の進捗状況について

石綿管布設替工事計画について説明を受ける。

旬菜館増設計画について

手狭になっている旬菜館の増改築について、4つの計画案の説明を受け協議する。

視 察・調 査・トピックス

船ヶ鼻登山道安全祈願祭

4月22日、赤城山船ヶ鼻登山道安全祈願祭が行われ、神事後、船ヶ鼻岳遊会と有志で登山を行いました。熊等に気をつけながら登山を楽しんでもらえればと思います。



消防ポンプ操法(郡市大会)

6月7日、利根沼田支部消防ポンプ操法競技大会が沼田公園で行われ、自動車の部で第4分団(入原)、小型ポンプの部で第2分団(椽久保)が出場。第4分団優勝、第2分団準優勝と優秀な成績を上げました。※第4分団は県大会出場



イーグルポイント市より子どもたちが来村

イーグルポイント市より11名の子どもたちが来村。6月24日から7月2日まで、ホストファミリーのもとに滞在。25日にはウェルカムパーティーが行われました。



横浜市会との意見交換会

4月16日・17日の2日間、横浜市会へ表敬訪問しました。「日本最大の人口を有する基礎自治体である横浜市においては、大都市特有の課題をはじめ、多くの市政課題が高度化、複雑化しています。そのような中、合議制の議会と執行機関の長による二元代表制の一翼として、横浜市会は、多くの権限と責任を担いながら、その果たすべき機能を最大限に発揮していきます。」との説明がありました。

意見交換会では、和やかに「桜」や「昭和の秋まつり」から始まり、還暦野球による交流や市役所ホールでの昭和村の新鮮野菜の販売が好評なこと等の話題に広がりました。また、「旧市役所がリゾート開発により、改修されホテルとして再利用されたこと」などは、学校再編を抱える本村にとって興味深い話題となりました。

翌日は、「横浜経済の活性化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり」である、横浜港の機能強化のための客船ターミナル、コンテナターミナル等のふ頭の再開発を公務船より行政視察しました。財政基盤の強化のために必要な公共投資を行う必要性を目の当たりにしました。





林 勝美 議員

村道澤原吉斗久保線の整備事業はなぜ中断したのか

村長 協議の結果中止となりました

問 平成8年頃に実施された「ふるさと農道整備事業」が、中断した理由は。

答 村長

事業費5億円、延長2,420メートル、幅員5メートルの舗装道路整備として進めていましたが、用地の確保が難航し、協議の結果、中止となりました。

問 農地と道路の境界の明確化は。

答 村長

当時の境界杭が残っていれば、明確に示すことが可能であるが、正確な境界確定するには関係者立ち会いのもと、境界確定作業が必要です

問 今後の整備計画は。

答 村長

現時点で整備計画や具体的な改良予定はありません。地権者の協力により幅員が確保されることなど、用地確保の見直しや地域の協力状況を踏まえ、慎重に判断します。

4月に発生した磐越道での部活動バス事故は

村長 移動の安全確保の重要性を改めて示しました

問 大会や練習試合の移動方法は。

答 教育長

部活動では、運転手や車両管理者(受託事業者・村)が責任を負うこととなります。

確な基準はありません。

問 安全対策の強化は。

答 教育長

無理のない計画づくりや事前確認を徹底し、保護者の自動車保険加入状況の確認を周知していきます。

答 教育長
県大会以上は貸し切りバスや庁用バス、その他は保護者の乗り合わせによる送迎が中心です。

問 事故発生時の責任責任区分及び対応手順は。

対応は警察・消防への通報、顧問への連絡、校長、教育委員会への報告という流れです。スポーツ少年団は、加入するスポーツ安全保険や自動車保険で対応しますが、明



スポーツ少年団(玉村町剣道大会)



澤原吉斗久保線



堤 宏康 議員

学校問題について村長として候補地の1か所への選定に関して重視している事項は

村長 村の限られた財政の中で、事業費の精査も必要である

問

地域説明会資料の建設地の評価について、「候補地評価シート委員個人の採点の幅は、委員の感じ方、考え方にお任せした」「委員の平均点を集計した」と答弁があった。委員個人の主観的な要因が排除されないのではないか。

旧建設委員会と今回の推進協議会の評価の結果を比較した。「旧建設委員会の総合評価、①鎌沢②昭和中、最下位の⑥南小」「推進協議会の評価の集計合計段階①南小活用②鎌沢⑤昭和中。また、小計段階では①鎌沢②南小活用」と、候補地の評価の結果が異なる要因は何か。

答

教育長

前半16項目部分の評点と後で50点分追加し、150点満点の評価シートに変わった。付け加わった50点の傾斜配点の違いの中で順位の違いが現れた。

問

評価項目、具体的な視点が異なれば、評価結果を変えることができることを証明してしまっただけではないか。地域説明会で回答のあった、「建設中の児童への影響、関連予算の増加見込」で評価が変わることもあるのでは。候補地案として昭和中も有力と思える。①「建設中の児童への影響」を考えると、まず、校舎を増設し、完成後、中学生は増設校舎に移動し、現昭和中校舎の長寿命化をする。中学生に負担はかかるが、小さい小学生への影響は少ない。②現実的に現在、中学校1年生から昭和中の場所に行く。6年早まって小学校1年生から行くだけとの見方もできる。③50代を含め、10代まで、昭和中で育った方々にとつての大切な母校が校舎として残される。そういった点も評価してはどうか。どのような協議がなされ、昭和中が外れたのか。

評価項目、具体的な視点が異なれば、評価結果を変えることができることを証明してしまっただけではないか。地域説明会で回答のあった、「建設中の児童への影響、関連予算の増加見込」で評価が変わることもあるのでは。候補地案として昭和中も有力と思える。①「建設中の児童への影響」を考えると、まず、校舎を増設し、完成後、中学生は増設校舎に移動し、現昭和中校舎の長寿命化をする。中学生に負担はかかるが、小さい小学生への影響は少ない。②現実的に現在、中学校1年生から昭和中の場所に行く。6年早まって小学校1年生から行くだけとの見方もできる。③50代を含め、10代まで、昭和中で育った方々にとつての大切な母校が校舎として残される。そういった点も評価してはどうか。どのような協議がなされ、昭和中が外れたのか。

答

教育長

ハザードマップの対象区域にあるが、事前に建つてあるものは避難経路の徹底ということになる。新たに建てる場合は、洪水対策、浸水対策をして地域の人に理解いただけるような状況で、建てていかなければならない。

問

候補地の選定に関して重視している

第一、第二保育園の統合は

村長 令和9年4月の統合に向け

丁寧な説明を行う

問

第一、第二保育園の統合が必要なる理由の説明を求める。

答

村長

園児数の著しい減少。社会性や協調性、コミュニケーション能力を育むためには、一定規模の集団環境を確保することが重要と考えている。また、

答

村長

まず、保護者や住民の皆様のご理解が必要と考えている。また、物価高や世界情勢から建設費の増加が予想される。村の限られた財政の中で、最小の予算で最大の効果を得られるよう、事業費の精査も必要と考えている。

問

統合に向けた今後の予定は。

答

村長

令和9年4月の統合に向け丁寧な説明を行う。保育士の配置体制の確保や、施設・設備の充実を図る。



加藤 生 議員

農家に所得保障の創設を

村長 関係団体と連携し国へ強く要望していく

問

中東情勢の不安定な状況下で原油や肥料原料の尿素、石油由来のナフサなど日常生活や農業への影響が大変危惧されています。

特に農業分野では肥料価格の高騰が続いており

ます。また、農業用ビニール資材も早ければ今秋にも値上がりが見込まれております。

若い農業経営者が夢と希望を持って営農が続けられるよう国や県に所得保障の支援要請を進めていくのか伺います。

答 村長

物価の高騰に加え、原材料不足もあり、営農活動に不安をもたらし、若い農業経営者の皆さんが強い危機感を抱かれています。ことに對して、農業用資材等の価格高騰という大きな波は国において対策が不可欠であると考えています。村としても群馬県町村



会や全国町村会をはじめ、各種関係団体やJA等の農業関係機関とも強く連携し、国に対して肥料・資材価格高騰に対する助成制度の拡充や直接的な所得補償的な支援の創設など実効性のある経営安定策を速やかに講じるよう強く要望し、県や国に働きかけを要請したい。

子育て施策で人口減少に歯止めを

村長 子育て世帯のニーズや時代に即した支援体制を再構築していく

問

人口減少・少子高齢化の進行は本村においても大きな課題となっています。

おむつ等購入費助成事業、民間保育所補助事業、児童手当等支給事業など子育て支援施策に取り組んできましたが、新たな支援事業を検討しているのかお考えをお伺いいたします。

答 村長

少子高齢化や若年層の流出による人口減少に歯止めをかけるため、総合計画や総合戦略に基づき、子育て支援や産業の振興、移住・定住施策などの促進に取り組み、村の活性化を図ってまいりました。

将来人口の今後5年間の推計について自然減少を中心とした人口減少が



続く見込みであり、令和7年国勢調査の速報値では6,687人であるが、令和12年には363人が減少し、6,324人になると推計しています。

村独自の施策は保育園の完全給食化、副食費の補助、新築住宅補助金や奨学金返還補助を実施。昨年度から入学祝い金の支給を始めています。

佐藤 好美 議員



道の駅めぐりーむ昭和の将来の構想と旬菜館増改築について

村長 インターに隣接する利点を最大限に生かした集客・販売戦略は重要

問

「道の駅」の将来を見据えたとき、さらなる飛躍のための構想を、今どの様に考えているのか村民に示してください。

令和7年度で旬菜館基本設計、令和8年度の増築実施設計については村民が期待するところです。旬菜館の増築は、将来の道の駅全体像も視野に入れてください。山形県の「道の駅米

沢」は本村と同じく、インター下車1分という立地条件が最高。広い駐車場は混雑、旅行の雰囲気

が味わえ、価格が多少高価でもお土産として購入するという相乗効果がある駅です。参考にしてください。

道の駅自体も広く、憩える場所、滞在時間が長く、集客が見込まれ、村が潤うこと（外貨を稼ぐ手段を考え、「昭和イン

答 村長

「昭和インターを降りてすぐ」という圧倒的なアクセスの良さをさらに強力にアピールするため、看板の設置や広報手段、SNSを活用したプ

ローション等の宣伝を工夫し、購買意欲を高め、村経済の活性化を図りたいと考えています。道の駅を観光拠点として、基幹産業の農業をベースに交流人口を拡大し、野菜等のブランド化を図り付加価値を高めたいと考えます。

道の駅の飛躍に向けた具体的将来構想を描き着実に形にしていきます。

「時差式信号機」の場所に「矢印信号」設置等安全対策措置を

村長 沼田警察署へ要望書提出
利根地方総合開発協会から知事へ要望

問

時差式信号機は村内では、役場の所と森下に2カ所、さらに村民が日常的に活用する岩本駅付近にも設置されています。

時差式信号機は、渋滞や事故を減らす役割がありますが、実際には、渋滞等が発生した場合に解消されていません。そこで、さらに右折の

答 村長

岩本町の右折矢印信号

矢印信号を補助的に設置等、積極的かつ早急に関係機関と連携して、安全対策を講じてください。交差点での渋滞緩和、円滑な交通の流れ、安全性確保のための矢印併用の時差式を求めます。

への変更については、令和3年度に沼田警察署へ要望書を提出。

令和7年度には、利根地方総合開発協会の交通水利部門から知事へ要望。右折レーンが必要ですので、関係機関に働きかけ交通安全対策や渋滞緩和に向けて努めていきます。





倉沢つかさ 議員

総合運動公園の遊具・設備等の 管理と今後の予定について

教育長 より安全で快適な場所となるよう
管理する



メンテナンス後のベンチ(2026年)



メンテナンス前のベンチ(2022年)

問 安全管理のために
点検はどこに依頼
し頻度は。

答
教育長

公園内の遊具点検は県内の業者に委託し、年に一回法定点検を実施。職員が定期的に目視による点検。危険な箇所は早期に改善をしています。

問 水辺の水質管理と
整備は出来ている
か。

答
教育長

水辺の水は水道水を循環利用し一日の運転が終了すると流れている水は排出しています。

問 ふれあいグリーン
パーク内のトイレ
の洋式化は検討されて
いるか。

答
教育長

村内の体育施設の修繕と併せて洋式化も考えていきたい。

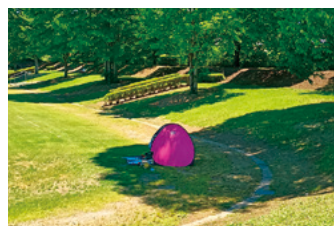
問 公園内では、火気
を使わない、日よ
けとしてのテントは利用
可能か。

答
教育長

特に規制はしていないので、他の利用者に配慮しつつ利用して欲しい。

提言

初めて訪れた利用者が分かりやすいように「公園内配置図」が必要だと思います。また、有料貸出エリアの場所・申込方法等、二次元コード等で周知できると、安心して利用できると考えられます。



成年後見人制度の昭和村の取組 と現状について

村長 相談対応や制度の利用促進
を図る体制を整備

問

成年後見制度が始まった頃は、申立人が子や兄弟、配偶者など親族が大半でしたが、身寄りがなかったり、親族の支援が見込めなかったりする場合、各市町村長が申立人になるケースが増えている現状があります。昭和村の現在までの利用実績及び今後の課題について。

答

村長 成年後見制度は、認知症や知的障害などより判

断能力が不十分な方の財産や権利を守り、生活を支援する大変重要な制度と認識しています。
昭和村権利擁護センターを昭和村社会福祉協議会に委託し、相談対応や制度の利用促進を図る体制を整備しています。
3年間の相談件数は19件となり、村長申立の相談も受け準備をしています。解決までは非常に難しいと感じていますが、親身になって丁寧に対応をしていきたいと思っています。

林 幸司 議員



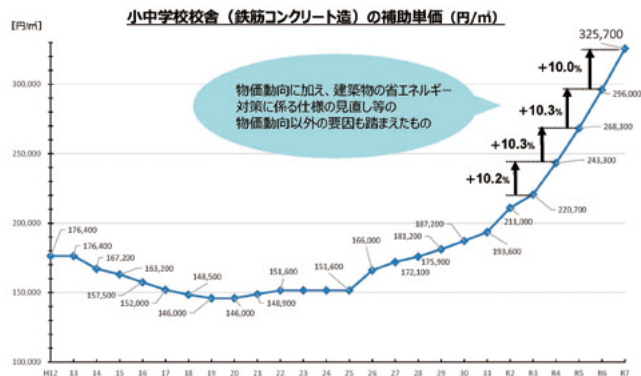
物価高騰で統合小中学校の 総事業費は

教育長 3割以上の高騰も考えられ厳しい
状況と認識

公立学校施設整備に係る補助単価の推移

資料 6

小中学校校舎（鉄筋コンクリート造）の補助単価については、資材費や労務費の動向、標準仕様の見直しなどを踏まえて毎年見直しを図っており、令和7年度補助単価は325,700円/㎡（対前年比+10.0%）となっている。



出典：文部科学省ホームページ

問

公表された学校建設費の試算（森下鎌沢）71億円には、物価高騰分と給食センターが見積もられていません。ここ5年間で54%も高騰し建設時には92億円にもなる試算となります。

総事業費の見直し、給食センターの建設計画、候補地決定後の総事業費の随時公表を求めます。

答

教育長

少なくとも2割、3割以上の高騰も考えていかなければならない。重々厳しい状況と認識し進めていきたい。

給食センターだけで13億円ぐらいかかる。学校敷地内に敷地を確保し、1年でも早く建設できるように進めていきたい。

設計段階で総事業費は詳細に積算されます。随時お知らせいたします。

高校生の通学にも補助制度を

問

高校生への通学補助を利根沼田で実施していないのは昭和村だけです。

通学費用の現状、県内の実施状況、送迎費用も考慮し、バス・電車等の定期券の半額について補助制度の創設を求めます。

答

教育長

岩本から高崎へ3カ月定期代2万3,810円。村内から沼田高校前までの3カ月定期代が最大で6万3,950円です。県内では16市町村が補助を行っています。

補助制度については、義務教育学校の設置や新たなスクールバスの運行等、大規模な財政支出が見込まれる中、目的や効果について関係各課と調査研究してまいります。

緊急に暮らし営業、農業を守る対策を

問

中東情勢から、石油由来のありとあらゆる資材が供給不安定化して不足、高騰しています。

戦争をやめさせる努力とともに、緊急支援策の実施を求めます。

答

村長

暮らしや地域経済に極めて深刻な影響を及ぼし強い危機感を持っています。

世界各地の紛争で多くの命が失われ深く心を痛めており、一刻も早い平和的解決を強く願うものです。

物価高騰対策は、国全体での対策が必要であり、国に対策を要望し、臨時交付金を最大限活用してまいります。

問

家庭で天ぷらなど揚げた後の廃食用油が、ジェット機の燃料(SAF<サフ>)になるので、地球にやさしいバイオディーゼル燃料などにリサイクルしている自治体を参考に取り組みをして欲しい。二酸化炭素の削減にも、使用済み油を回収し資源として活かすシステム構築を提案する一般質問がありました。

答

村当局は、近隣市町村等の回収方法や処理業者などを参考に、効率的な回収方法を考え、取り組みをはじめる準備をしていきたい旨の回答がありました。

その後

旧給食センター跡地(糸井)に廃食用油回収プレハブを設置。蓋ができるペットボトルなどの容器に油を入れて、いつでも出せるようになり、5月までの1年間で388kgを回収しました。



利用者の声

今まで処分に困っていた使用済み天ぷら油が、バイオディーゼル燃料やアスファルトの原料などとして再利用され、村で収集し有効活用される事はありがたいです。私もペットボトルに入れフタをして集めて出しています。

大変良いことと思うので、皆さんも協力し出して欲しいです。

ここもチェック！

廃プラ回収が毎月2回へ

資源ごみと一緒に出していた廃プラが、家庭から多量に出るため困っている声が寄せられました。このため今年4月から毎月2回(第2・第4火曜日の午前8時30分までに)、各行政区で指定された1カ所の専用ステーションへ出せるようになり、パレットなどの製品にリサイクルされています。

※指定されていないステーションでは回収されません。



追跡
シリーズ

45

あの 問題は 今



使用済み食用油をリサイクル

議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの意見要望等は、どのように処理されているのか。請願・陳情を含めて、その後の経過を追跡しました。

地域でがんばる



94歳現役の秘訣は

「健康麻雀」で皆さんと楽しく

私が麻雀をするようになったのは、今は亡き主人と2人で家庭麻雀を楽しんでいたのが始まりです。

現在、福祉センター「ふれあい館」で行われている健康麻雀は、最初は3卓(12人)集まるのがやっとという状況でスタートしました。

当時、指導者をお願いされ、「私で大丈夫かしら」とも思いつつ引き受けました。



初心者から経験者まで楽しく参加

今では、人が人を呼んで毎回5卓は立つほど盛況となり、皆さんが楽しみながら麻雀をされていることを嬉しく思います。片品村や沼田市からも視察や見学にいらつしました。

ふれあい館で私が立つたまま皆さんに教えていると、とても心配してくださいますが、これもまた私の健康の秘訣だと思っています。

4人で行う麻雀は、それぞれのリズムがあり、付度も必要です。また、協調性も大切です。戦略を練って頭も使います。この年齢になっても健康麻雀ができることは、本当に幸せです。

地域との関りを振り返りますと、昔の役場の玄関に、個人的に桔梗の花を生けていた頃から沢山の方との出会いがありました。

初代ボランティア会長の故松井鶴江さんの頃からボランティア活動を始めましたが、当時、皆さんと一緒に高齢者世帯向けのお弁当を40食分

作っていたことはよい思い出で、大変楽しく活動してきたことを実感しています。

現在の私の一日は、皆さんと楽しく麻雀をし、その後に昭和の湯へ行くことで、とても充実したものとなっています。昭和の湯では、広々としたお風呂で空を眺めるのが好きです。一人暮らしですので、一日の生活のリズムを保つこと、そして食事、お風呂、空、麻雀と、とても満ち足りた思いで家に帰ります。一日30品目以上を目安にした食事も健康を保つ秘訣です。

若い方へのメッセージとしてお伝えたいのは、90歳を過ぎて元気で一人気ままに生活していますが、ご近所の方の声かけや、地域との繋がりが健康の秘訣だと思います。

ぜひ人と人との繋がりを大切になさってください。これからも皆さんと楽しく過ごす時間に感謝して、私の寄稿いたします。



殿井 てる子さん (永井)

編集室から

中東情勢の悪化で不安定な世界になり、生活が大変になって来ています。早く解決してくれることを願うばかりです。

また、今年の夏はエルニーニョの発生が確実視されており、さらに強いスーパーエルニーニョになると聞きました。厳しい暑さが予想されますが、健康が一番であると思いますので、体調に気をつけて暑い夏を乗り越えましょう。

6月定例会では条例改正や各会計補正予算などが可決されました。分かりやすい議会だよりを目指して内容の充実に努めてまいりますので、皆様の感想やご意見をお待ちしております。

議会広報編集特別委員会

委員長 林 栄一
副委員長 藤井 貞充

委員 阿部 孝司 佐藤 好美
堤 宏康 沢浦 典子
永井 一行

議会だより
既刊号